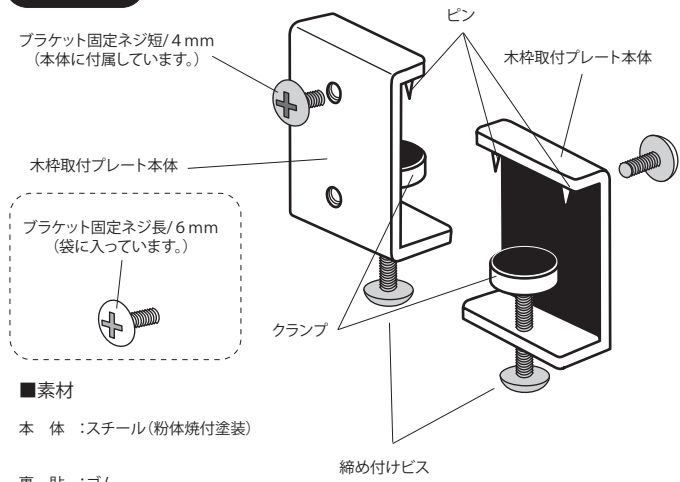


この度は木枠レール取付けプレートをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
この説明書をよくお読みの上、正しく取り付けてご使用ください。

各部の名称



■素材
本 体 : スチール(粉体焼付塗装)
裏 貼 : ゴム

取付方法

1 ■ネジサイズの選定

木枠取付プレートには2種類の長さのブラケット固定ネジがあります。取付けたい商品のブラケットをどのネジで固定するか判別します。ブラケットの厚みが1mm程度であれば、ブラケット固定ネジ(短)で、ブラケットの厚みが2mm程度あれば、ブラケット固定ネジ(長)で取付けます。木枠に取り付ける前にブラケット自体が固定できるかを最初にご確認下さい。

確認① 固定ネジが取付けたい商品のブラケットのネジ穴に通るかを確認する。

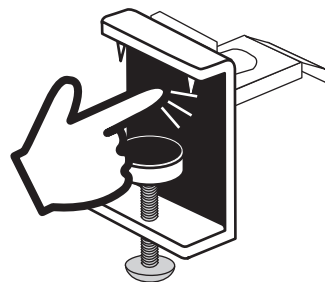
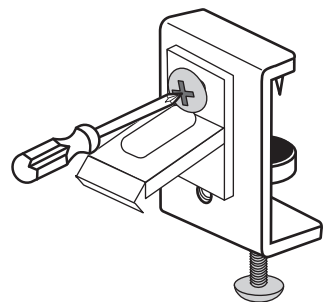
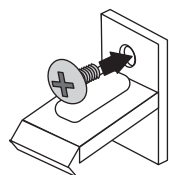
穴が小さくて通らない場合は取付けできません。

確認② 固定ネジを締め、ブラケットが固定出来ることを確認する。

固定ネジが空回りする場合は固定ネジが短いです。固定ネジ(長)に交換して下さい。

確認② 木枠取付プレート裏面に固定ネジが飛び出していないか確認する。

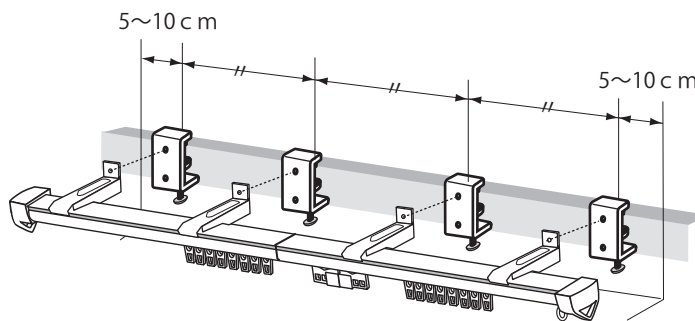
固定ネジが裏面に飛び出ている場合は固定ネジが長いです。木枠に固定ネジが当たり傷がつくことがあります。固定ネジ(短)に交換して下さい。



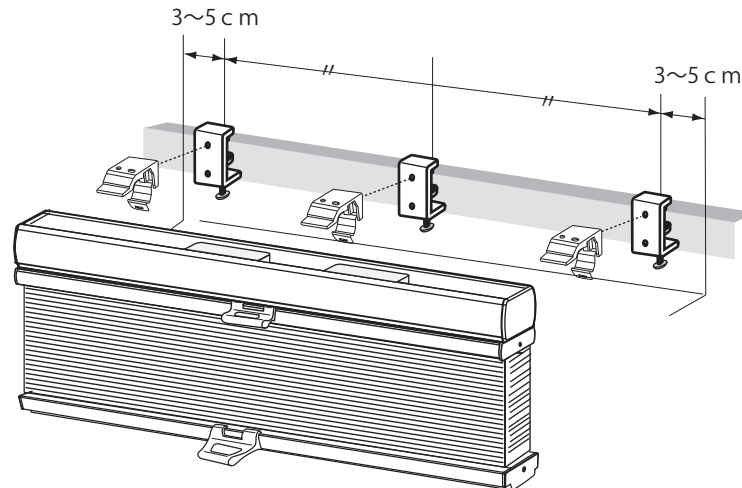
2 ■木枠取付プレートの取付位置

取付位置を決めて木枠取付プレートを取付けます。その際、取付けたい商品(シェード・スクリーン・カーテンレール等)の取説をよく読んで、商品のブラケット取付位置に準じた箇所に木枠取付プレートを配置します。(下図はあくまでも配置の例です。)

1. カーテンレールの配置例



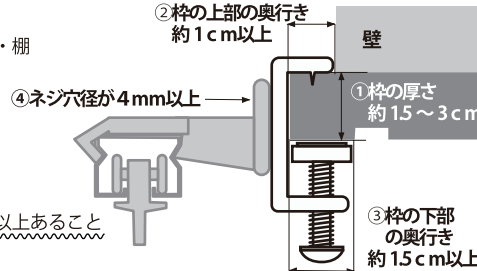
2. シェードのブラケットの配置例



取り付け前の事前確認

■取付可能な場所とブラケット

- 木製の鴨居・スライド扉の枠・窓枠・棚
- 取付可能な枠のサイズ
 - ①枠の厚さ: 約1.5~3cm
 - ②枠上部の奥行き: 約1cm以上
 - ③枠下部の奥行き: 約1.5cm以上
- 対応ブラケットのサイズと条件
 - ④商品付属の取り付けネジ径が4mm以上あること
 - ⑤商品重量: 5kg以内であること



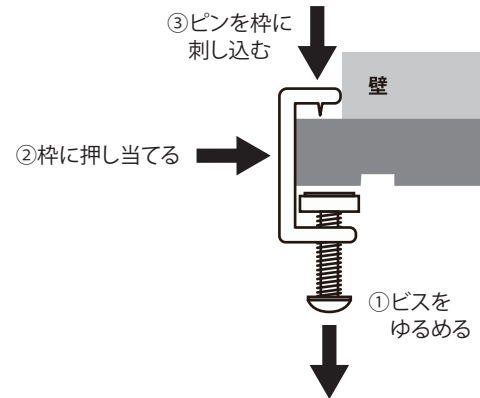
※本製品は屋内専用です。また、屋内であっても高温多湿下での使用には向きません。
※木製の鴨居・スライド扉の枠・窓枠のサイズ、形状、材質などによっては、取り付けできないものや荷重に弱いものがあります。無理なご使用は変形や破損の原因となりますので、取り付け前に取り付け部(木枠)の強度を必ずご確認ください。
※ピン先端は非常に鋭利です。取り扱いには十分にご注意下さい。
※ピンで刺すため取付箇所に2mmほどピン穴が残ります。ピンの穴あとが残っても差支えない所に取付けて下さい。



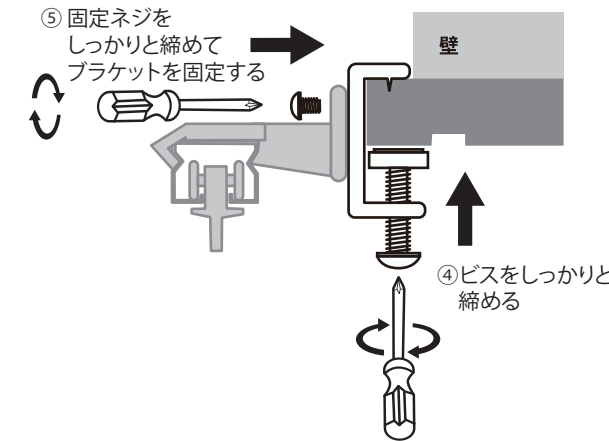
3

■木枠取付プレートの取付方法

- ①枠の厚みに合わせて締め付けビスを緩めます。
- ②本体を枠に押し当てます。
- ③ピンを枠に刺し込みます。



- ④本体が水平、垂直になるように押さえながらビスを締め付けます。
- ⑤ 1で選んだ固定ネジで取付けたい商品のブラケットを固定して完成です。

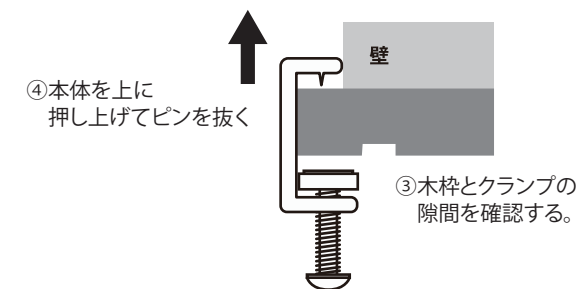
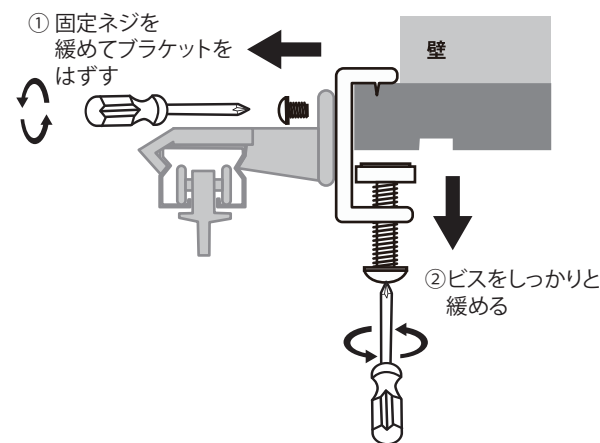


取りはずし方法

■木枠取付プレートの取りはずし方法

- ①固定ネジを緩めてブラケットを本体からはずします。
- ②締め付けビスをしっかりと緩めます

- ③木枠とクランプの隙間が5mm以上あることを確認する。
- ④本体を上押し上げてピンを抜けば取り外せます。



⚠ 使用上のご注意

- 本製品をカーテンレール・ブラインド・ロールスクリーンなどの窓装飾品の取付け以外の用途に使用しないで下さい。
- 本製品を取付けたあと、本体が安定して固定されているか、必ずご確認の上ご使用下さい。また、定期的にくらつきがないかを確認し、くらつきがあった際は①締め付けビスが緩んでいないか、②垂直に取り付いているか、③木枠の強度に問題がないかをご確認下さい。
- 本製品に物を吊り下げたり、ぶら下がったりすることは絶対におやめ下さい。ケガの原因になります。
- 木枠取付プレートの取付け、取付けたい商品のブラケットの取付けは確実に行って下さい。取付けが不完全ですと、製品が落下してケガをしたり、近くのを破損する恐れがあります。
- ピンの先端部分は、非常に鋭利です。取り扱いには十分にご注意下さい。絶対に小さなお子様手の届く所に放置しないで下さい。
- 商品耐荷重は全体で約5kgを想定しておりますが、商品の大きさや、木枠の強度によって前後することがございます。また、耐荷重制限内でも衝撃などに耐える構造になっておりません。落下の恐れがありますので、乱暴な取り扱いをしないように十分注意して下さい。

お手入れ方法

- 日常のお手入れは乾いた布で軽く拭いて下さい。また、ひどい汚れは水に少量の中性洗剤を混ぜたもので拭き取り、その後すぐに乾いた布でしっかりと拭き取って下さい。
- 濡れた場合は乾いた布で拭き、よく乾かして下さい。長時間濡れたままにすると錆の原因となります。
- シンナーやベンジン等の有機溶剤を含んだ薬品で拭かないで下さい。表面の仕上げに変色や変形、ハガレが発生し、商品を傷めます。ご使用はおやめ下さい。

製品は改良の為、予告なく仕様を変更する場合がありますので予めご了承ください。